

## 資源循環型施設建設に関する説明会 概要 【下塩尻自治会】

### 1 開催概要

開催日時	令和7年2月10日（月）19：00～20：39	
開催場所	下塩尻公民館	
出席者	住 民	25名（下塩尻地区住民23名、他2名）
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員12名
	報道関係	3社

### 2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	資源循環型施設建設について	最終的な判断をしなければいけない局面が近づいてきているが、土屋広域連合長の思い及び決意をお聞きしたい。	<p>資源循環型施設については大変長い期間、御協議をいただききており、御対応いただいている自治会の皆様及び対策連絡会の皆様には、大変ありがたく思っている。</p> <p>全ての説明会終了後には、対策連絡会の皆様に基本協定の締結をお願いし、清浄園用地を建設地とする段階となる。</p> <p>清浄園用地が建設地として決定しても、それで終わりではなく、大きなスタートになるののでしっかり取り組んでまいりたい。</p> <p>地域要望についても、引き続き様々なレベルで話し合いを行い、しっかり対応していきたい。</p> <p>皆様とともに建設に向けて取り組んでまいりますので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>（土屋広域連合長）</p>
2	周辺整備事業について	アクアプラザ上田はプールやサウナがあり非常に良い施設。プールで歩くことは健康にも良い。	プールを使った健康ウォーキングや入浴施設は通年で利用者がおり、新しい施設でも配慮していきたい。

No	項目	質問・意見等	回答
3	周辺整備事業について	新施設の耐用年数はどれくらいを見込んでいるか。	設備と建物で耐用年数は違ってくる。水回りの設備は塩素を使うなどの理由で耐用年数が短くなっており、建物については適切なメンテナンスにより長期使用が可能となる。
4		基本的には現状を把握して新しい施設に対応するのが最適だと思うが、サンマリーナながのや、ラーラ松本のプールのように新しく施設ができたことによって利用者が増えることも考慮してほしい。	現状から、必要なもの、不要なものを整理し、新施設の将来を検討している。 新たに公園緑地や子ども広場を整備することによって、子育て世代、健康づくりを考える方を中心に、人がたくさん集まる施設にしていきたい。
5		サンマリーナながのが新しくなり、実際利用者が増えたのか等、具体的な調査をしてほしい。 その結果によって建設する施設の内容も変わってくるはず。	レジャープールは夏場の利用が多く、それ以外は少なくなる傾向のため、本施設は子育て支援という観点から、通年で利用いただける施設を目指している。 公園や子育て支援施設を整備し、地域の価値の向上にも努めていきたい。
6		新施設の運営に民間が参入する可能性はあるのか。	民間の参入については令和7年度から PFI 導入可能性調査を実施する予定。 可能な限り民間の力を生かして、サービスが向上できるような施設を目指し、コストを抑えながらより良い施設を検討していく。
7		土地の取得について、どのようなスケジュールで進める予定か。	土地の取得について今年から準備を進めていき、地権者と交渉を始め、令和8年から9年にかけて取得をしていきたい。 誠意を持って一軒一軒交渉していきたい。

No	項目	質問・意見等	回答
8	搬出入道路について	堤防道路の塩尻方面から古舟橋への右折車が渋滞していると思うが、具体的な対策は決まっているのか。	交通管理者である警察へ交差点の信号機の見直しの要望をしており、資源循環型施設ができる頃には改善される見込み。 古舟橋から上田方面は3車線の変則的な車道となっており、将来的な計画に適合できる道路を目指したい。
9		上田大橋側と古舟橋側から入る収集車の方向について、収集業者に対して通行ルートを指導するということなら「想定」ではなく「計画」ということで良いか。	収集業者に対して、通行ルートの指導は当然考えているが、将来の正確な収集車台数ではないため、「計画」ではなく「想定」という言葉を使用している。概要が判明次第しっかり示していく。
10	地域要望について	各関係自治会から要望事項を聞いているということだが、恐らく全ての団体から要望を聞いているわけではないと思われる。話せる範囲で状況をお聞きしたい。	対策連絡会から要望をいただき、昨年末に回答をしている。 下塩尻自治会とは公民館の建て替えを中心的な要望として協議を進めている。 欠口土地改良区からは農業用水路の関係などの要望をいただき、協議を進めている。
11	その他（ごみの減量について）	雑がみの減量、収集量の推移はどのような状況か。	雑がみについては可燃ごみとして出されてしまうことが多く、資源として回収するため、今年度より雑がみ回収袋を復刻し配布している状況。 1袋でおよそ3kg入る雑がみ袋を既に4,000枚配布しており、資源として回収している雑がみは増えていると思われる。
12	その他（マレットゴルフ場について）	堤防道路を広げる影響で、マレットゴルフ場の4ホールが無くなると聞いているが、今後の計画を教えてください。	マレットゴルフ場の利用者と話し合いをしており、残るコースの配置を変更するなどして、代替の4ホールを設置できるよう検討している。

No	項目	質問・意見等	回答
13	その他（ごみ減量化機器購入の補助について）	ごみ減量化機器購入補助について、次年度は実情に伴い増額も考慮してほしい。	令和7年度は当初予算で増額して計上する予定。 今後、状況を見ながら希望に沿えるよう努力していきたい。

## 資源循環型施設建設に関する説明会 概要 【上塩尻自治会】

### 1 開催概要

開催日時	令和7年2月11日（火）14：00～16：04	
開催場所	塩尻地区公民館	
出席者	住 民	38名（上塩尻地区住民38名）
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員12名
	報道関係	1社

### 2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	資源循環型施設建設について	3炉構成から2炉構成に変更した経過があるが、妥当性の証明や、検証はどこで示されたのか。	令和3年策定のごみ処理広域化計画では、「3炉構成を基本とし、今後策定する施設基本計画の際に総合的な検証をする。」としている。 施設基本計画策定の検討時に、2炉構成が有利と判断し、令和4年の方法書、令和5年の施設基本計画の説明会で説明をしている。
2		3炉構成から2炉構成に変更するのに妥当性を持ったデジタル的な資料、検証はどこにあるのか。	炉構成については、令和5年3月に策定した施設基本計画で比較検討を行っている。 比較検討内容については、方法書の説明会資料のほか、施設基本計画にも記載している。 資料は広域連合のホームページで確認が可能である。
3		配慮書で3炉構成だったのが、方法書で2炉構成に変更したことに対して、県の環境影響評価技術委員会は何も言わなかったのか。	2炉構成を前提として環境影響評価の予測・評価を実施しており、技術委員会では特段問題とはなっていない。

No	項目	質問・意見等	回答
4	資源循環型施設建設について	環境影響評価の大気質の項目で、ダイオキシン類の詳細な測定データはどこにあるか。	環境省の測定マニュアルに則り測定している。 ダイオキシン類については、連続測定ができず、1週間連続試料採取であり、1週間のデータとしては1個しかない。
5		上田市及び他市町村の可燃ごみの量を教えて欲しい。	上田市 32,198 t、東御市 3,490 t、長和町 875 t、青木村 618 t で4市町村の合計が 37,181 t になっている。(令和5年度実績)
6		余熱利用について、発電はやめたのか。やめたのなら、その説明をするべき。	ごみ焼却の余熱で発電することを考えている。概ね 2,300 kW 程度の発電ができると想定している。 施設の中で使用する電気も必要になるため、それ以外の電気を売電する想定としている。
7		現在の3クリーンセンターの処理能力の合計が 270 t/日であり、新施設の処理能力は約半分の 144 t/日であるが、どのような根拠で計算したのか。	広域連合全体のごみ処理に必要な施設規模は 130 t/日となる。それに加えて、一定の災害廃棄物を処理量の 1 割程度と見込んで 144 t/日の規模としている。
8	周辺整備事業について	箱物を建設、維持、管理していくにも多額の費用がかかり、コストダウンを図ることが何も言及されていない。 悪い話ではないと思うが、どれくらいの費用がかかるのか、人口減少と合わせて将来的な費用の増加の算定等も是非やってほしい。	人口減少、建設費や管理費が増大するなかで、コストダウンは必須であり、配慮した設計をする。 計画では余熱利用により燃料費を相当軽減することができる。 民間の活力を利用して施設を建設、運営していく方法も考えながら、費用負担を極力少なくするように検討していく。
9	搬出入道路について	資料2の28ページB地点は、堤防道路方面へ上る際とても曲がりづらい。 普通車でもきついが、パッカー車の通行は更にきついのではないか。	B地点の交差点は、車が安全に曲がり切れる大きさへ拡幅することで、パッカー車も含めて、対向車同士がすれ違う際も安全に通行できる計画としている。

No	項目	質問・意見等	回答
10	搬出入道路について	北詰交差点への信号機設置は現状不可ということであるが、18号バイパスの4車線化はまだ何十年も先の話だと思っている。最優先で再検討して欲しい。	上田大橋北詰の信号機については、交通管理者である警察が現状での設置は不可と判断している。 市としては状況等を確認し、今後も警察に要望を伝えたい。
11		国道18号バイパスの側道は大型車の通行もあり、拡幅等の配慮して欲しい。	資料2の25ページのA、B、C地点、清浄園まで拡幅等により主要な通行道路として整備するため、側道の拡幅は不要と考えている。
12	地域要望について	本日の説明会資料の地域振興策が報道されても支障はないか。	本日資料の地区公民館と小学校、土木・農業の要望もしっかりと受け止めて進めていきたい。 (土屋広域連合長)
13		安全・安心に暮らせるまちづくりを市民と行政が一緒に進めていくには、お互いに信頼関係を築き上げていくことが必要不可欠。 その第一歩として、上塩尻自治会としての個別要望について、文書での取り決めに強く要望する。 連合長の考えをお聞きしたい。	個別要望を提出していただき、私達も協定や覚書等の文書で整理をしてまいりたい。 今後も信頼関係を持って詳細な協議をしていくため、文書で協定を結び、皆さんと意思を一つにしながら進めていきたい。 (土屋広域連合長)
14	その他（生ごみの減量について）	有機物リサイクル施設の説明会で「今後、人口減少に比例してごみの量も減ることが分かっているのに、生ごみ減量に多額の費用をかけてやる必要がないのではないか。」という意見があったが、市長の考えをお聞きしたい。	有機物リサイクル施設を建設し、生ごみを循環させるというのが基本的な考え方。 資源循環型施設のコンパクト化には極力生ごみを持ち込まないのが前提であり、生ごみを堆肥化していくという基本路線に基づき進めている。 (土屋市長)

No	項目	質問・意見等	回答
15	その他（ごみの減量について）	<p>上田市がごみの分別について一番細かいと聞くがどうなのか。</p> <p>一戸建ての家とアパートの住民とで分別の厳しきの差異を感じるがどうか。</p>	<p>東御市と長和町は可燃ごみとは別に生ごみを別収集しており、各市町村も、ごみの減量に取り組んでいる。</p> <p>一戸建て、アパートの住民隔てなくごみの減量の御協力をお願いしてまいりたい。</p>
16	その他（ごみの分別について）	<p>東御市や長和町は生ごみを分別収集しており非常に大変だと思われる。</p> <p>東御市や長和町のホームページで確認できる。</p>	
17	その他（説明資料について）	<p>本日の資料では事業全体の詳細な説明がなくわかりづらい。</p> <p>全体のわかりやすい説明がないと市民理解が得られないのではないか。</p>	<p>説明会は初参加の方にもわかりやすい資料を心がけているが、時間や資料分量の制約から全てを網羅するのは難しい。</p> <p>御不明点等あれば、別途の説明も行うので、問い合わせをいただきたい。</p>
18	その他（次期施設について）	<p>次期施設はこの地域に建設しないとお約束いただいたが、次期施設について、今回のように時間がかからないよう、早めに地域選定を進めてほしい。</p>	
19	その他（地域振興について）	<p>下之条への清浄園の機能移転に伴う地域振興として、古戦場公園多目的運動場の人工芝化を前向きに検討との報道は事実か。</p>	<p>地元要望に加え、サッカー協会からの要望もあり、そのような回答をした。</p> <p>（土屋市長）</p>

## 資源循環型施設建設に関する説明会 概要 【諏訪部地域】

### 1 開催概要

開催日時	令和7年2月14日（金）19：00～20：45	
開催場所	清浄園 大会議室	
出席者	住 民	14名（諏訪部地域住民及び下沖振興組合員13名、他1名）
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員13名
	報道関係	4社

### 2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	資源循環型施設建設について	排ガスの数値を示す電光掲示板等は、どこに設置する予定か。	施設の入り口にわかりやすい形での設置を考えている。 ホームページ等でもリアルタイムで確認できるよう考えている。
2		モニタリングについて、簡単に地元住民が確認できる方法を考えてほしい。	全国の事例等を研究していく。
3		諏訪部住民にわかりやすく見せるため、環境影響評価の大気質項目で、一番濃度が高くなると予測結果が出た地点でモニタリングをしてほしい。	環境影響評価の結果、最大濃度着地点においても環境への大きな影響はないという前提はあるが、施設稼働後のモニタリングの場所等については、地元の皆様と協議して決めていきたい。
4		発電規模はどの程度か。	発電規模は、現状2,300kW程度を見込んでいる。
5		発電した電気を諏訪部住民に供給するなどの地元還元等は考えているのか。	電力を供給する等の個別世帯への優遇措置は考えていない。

No	項目	質問・意見等	回答
6	資源循環型施設建設について	公害防止協定と基本協定の違いを教えてください。	基本協定では、建設決定にあたって、安全・安心な施設の実現や今後この地域には建設しないなどの行政の基本的な姿勢を定めたい。 公害防止協定ではモニタリングの場所、方法や公害防止の枠組み等について定めたい。
7		各自治会との取り決め等は、どう考えるか。	各自治会要望等の取り決めは、個別に確認していくものと考えている。
8		ごみ焼却施設を建設する際には必ず地元と協定を結ばなければいけないと法律や条例で定められているのか。	法律や条例の定めはないが、施設建設を進めていくうえでの基本的な約束を担保するために協定を結びたいと考えている。
9		既存焼却施設の跡地利用はどのような計画か。	既存の3クリーンセンターは取り壊しを予定しており、取り壊し後の跡地利用については今後の検討となる。
10		既存焼却施設周辺にごみ処理関係の民間事業者もいるが、今後どうなるのか。	民間事業所については、今回の行政の計画とは別になる。
11	搬出入道路について	上田大橋から上塩尻東交差点にかけて、朝夕の渋滞が激しい。立体交差にできないか。	道路管理者である長野国道事務所に要望をしている。 18号バイパスの4車線化には時間がかかるので、立体交差以外の方法で何か対応できないか検討している。
12		自治会内に信号機のない横断歩道があり、ごみ収集車も多く通る。安全・安心に渡れるよう、資源循環型施設建設と絡めて信号機の設置を要望してほしい。	交通管理者である上田警察署に要望していく。 交通安全や渋滞の状況を見て、警察が判断して信号機の設置を検討することになる。

No	項目	質問・意見等	回答
13	周辺整備事業について	<p>最初からプールの設置ありきで話が進んでおり、参加したワークショップで出た意見が反映されていないと感じる。</p> <p>子ども達が遊んで滞在できる空間が組み入れられると良いと思う。</p>	<p>子ども達が遊べる芝生公園、親水公園、屋内の子ども広場を今回の施設のメインとして考えている。アクアプラザ上田の機能を整理、移転をして、子ども広場や子育てに使える形で検討していく。</p> <p>地域に受け入れられる施設になるよう、内容を詰めていきたい。</p>
14		<p>中高生が勉強できる場所を提供したいのであれば、図書館を建設すべき。</p> <p>中高生を集めるのであればプール中心ではなく、他の施設が適切ではないか。</p> <p>いろいろな人の意見を聞き、ベストを考えてほしい。</p>	<p>中高生の勉強等の居場所としての空間をイメージしている。</p> <p>今後民間の提案を受けながら、施設の内容を決めていきたい。</p> <p>サービスを向上させ、利用者を増やし、施設が円滑に運営できる形を目指していきたい。</p>
15		<p>上田から長野や松本のレジャープールに遊びに行く人が多いことから、今回の施設設計にレジャー要素を取り入れてほしい。</p>	<p>アクアプラザ上田のレジャープールが冬場にあまり利用されていない利用実態など、総合的に必要な機能の検討をしたうえで取捨選択をしていく。</p>
16	地域要望について	<p>諏訪部自治会は対策連絡会に参加していないので、地域要望の協議状況について情報が無い。質問、要望とそれに対する回答の詳細を示してほしい。</p>	
17		<p>地域要望への回答に、「次期施設について、諏訪部・秋和・上塩尻・下塩尻の地籍に建設しない」との記載があるが、決定事項として協定に盛り込んでいくということか。</p>	<p>地域要望の回答として、「次期建設はこの地籍には建設しない」としており、協定にも明記したい。</p> <p>(土屋広域連合長)</p>

No	項目	質問・意見等	回答
18	その他（説明会について）	<p>西部地区に対する説明はどのようなスケジュールとなっているのか。</p> <p>西脇では、経過について、知らない方が多いので、しっかり説明をして、必要な施設であることへの理解を進めてほしい。</p>	<p>西部地区自治会連合会から、説明会の開催依頼を正式にいただいている。</p> <p>西脇での開催要望をいただいたので、3月に説明を行う予定。</p> <p>対策連絡会の皆様からは、諏訪部自治会にも協議に参加してほしいとの思いをお聞きしており、地域要望の中でも触れられている。</p> <p>西部地区や西脇に限らず、資源循環型施設について話を聞きたいという声があれば、お伺いし説明し、意見をお聞きしたい。</p>
19	その他（これまでの経過の周知について）	<p>子ども達にも施設建設の情報を伝え、ごみ焼却施設をこの地域に建設することに対して感謝のメッセージを寄せてもらうような取組をしても良いと思う。</p>	

## 資源循環型施設建設に関する説明会 概要 【秋和自治会】

### 1 開催概要

開催日時	令和7年2月16日（日）14：00～16：04	
開催場所	秋和児童センター	
出席者	住 民	52名（秋和地区住民51名、他1名）
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員13名
	報道関係	1社

### 2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	資源循環型施設建設について	資源循環型施設の建設は進めるべきと考えるが、昨今の資材費・建設費等の高騰の影響で施設建設や地域振興策等が計画どおりに進まないことを危惧している。	要求水準書を作る際に、必要な機能、不要な機能をしっかり整理して、可能な限り費用の節減に努めていきたい。 また、財源等について、可能な限り国の補助金等を活用していきたい。 施設建設、周辺整備事業、地元要望を可能な限り並行して進めていく。
2		業者選定について、一つの方式に固定せず色々な方式に耳を傾けていただき、より公害防止や廃棄物の低減に繋がる事業者選定をしてほしい。	これまでの協議の積み重ねで約束した自主基準値等の施設基本計画は遵守しながら、事業者の提案に耳を傾け、より良い方式で安全・安心、また費用の節減ができるように模索していく。
3		建物の規模や高さが示されたが、実際にできる施設の大きさがイメージできない。	現段階でのイメージとして、千曲市にある、ちくま環境エネルギーセンターを少し大きくした規模と考えている。
4		地震対策はどこまで考えているのか。 大きな地震があれば清浄園用地は液状化すると思われる。	震度6から7程度の地震を踏まえた耐震計画を考えている。 清浄園の地盤等を詳細に調査し、必要であれば杭基礎などの対策をしていく。 液状化の検討を行い、頑丈な構造の建物としたい。

No	項目	質問・意見等	回答
5	資源循環型施設建設について	環境影響評価の予測値と施設稼働後の実測値の比較は、どのような形で調査し、住民に説明するのか。	環境影響評価での予測評価に用いた自主基準値が施設稼働時の最大数値となることから、基本的に実測値はこの値を超えない。 現在の3クリーンセンターでは法令に基づき測定し、ホームページで公表している。 新施設における調査頻度等は、これから皆様との協議の中で決めていきたい。
6		環境モニタリングを継続するとした調査項目（悪臭、土壌汚染、地下水等）を明示してほしい。 これが無いと公害防止協定が結べない。	地域住民の皆様の関心が高いと思われるダイオキシン類のモニタリングを考えている。 悪臭は、敷地境界においてしっかり調査していく。 調査場所、項目等は、今後の協議で決めていきたい。
7		誰が見てもごみ焼却施設とすぐ分かるような外観になるのか。 費用もかかるとの説明もあったが、どの程度周辺環境と調和した施設にする予定か。	周辺との調和や外観に関して、費用も含めて施設の仕様を定める要求水準書への反映について皆様と協議していきたい。 最終的には、要求水準書に対する事業者の提案により決定してくるものと考えている。
8		資源循環型施設を防災拠点として整備するのか、それとも移転されるアクアプラザ上田（余熱利用施設）、公園を含めて、そこを防災拠点とするのか。	資源循環型施設は、災害時に停電があっても、ごみ焼却熱での発電により、自立的なエネルギーを確保できる特性がある。 一時的な避難場所として、携帯電話の充電、入浴、物資備蓄等も施設本体の機能として検討したい。 また、余熱利用施設との補完、連携も考えていきたい。

No	項目	質問・意見等	回答
9	資源循環型施設建設について	環境教育の観点からプラザ機能を整備するということが、どのように反映させるのか。	小学生等の施設見学に加えて、環境問題、ごみ問題、自然環境などについてのイベントや体験型学習ができるような施設にしていきたい。エコハウスの機能も継承していきたい。 NPO など、地域との協働も重要と考えており、今後検討していく。
10		ごみの焼却で発生するエネルギーを回収して、資源を循環利用する施設ということだが、具体的なエネルギーの回収は、熱供給だけか、それとも発電も考えているのか。 発電設備の整備費は、全体整備費の 219 億円に含まれているのか。	焼却熱について、まずは熱として施設内の冷暖房等に活用し、次に余熱利用施設への供給を考えている。 更には発電に活用し、電力はまず施設内で使用し、余剰分は売電を考えている。発電出力としては 2,300 kW を見込んでいる。 全体整備費に含まれている。
11		売電収入を施設の維持管理に充当する計画であったが、今も変わらないか。	売電で得た収入については、施設の運営費に充当する予定としている。
12		過去に余熱を電気に変換することにより温室効果ガスの削減ができるという説明があったが、今も変わらないか。	施設での電力自己使用、余剰電力の売電により、化石燃料での火力発電が抑えられ、温室効果ガスが削減できると考えている。
13		施設の建設工事にあたり、工事車両等の交通量が増えることが予想されるが、大型の工事車両が農道を痛めたり、地元の人に不便をかけたりにすることがないようにしてほしい。	資源循環型施設の工事車両は、基本的に古舟橋側からの進入となる。常磐城上塩尻線（五反田新屋線）から最短距離で建設地へ進入するルートを考えていきたい。 秋和南部の農道を工事車両が通行しないよう配慮をしていきたい。

No	項目	質問・意見等	回答
14	資源循環型施設建設について	<p>ごみ処理は資源循環型施設だけでなく、焼却灰を埋め立てる最終処分場が必要となる。最終処分場は、同時期に完成するのか。</p> <p>周辺整備事業も合わせ、これだけの事業が一度にできるのか。</p>	<p>資源循環型施設建設予定地の上田市を除く市町村で最終処分場の建設地を選定する方針であり、各市町村の担当レベルで検討を開始している。</p> <p>資源循環型施設建設と並行して事業を進めていきたい。 (土屋広域連合長)</p>
15		<p>資源循環型施設と最終処分場が同時期にできているのが理想だが、最終処分場建設地の選定が、何十年もかかることがないようにしてほしい。</p>	<p>資源循環型施設建設候補地の選定経過も踏まえて、慎重に進める必要があり、同時期の完成は困難なところもあると想定している。</p> <p>焼却灰の処分は現状のリサイクル利用を継続し、最終処分場完成後も複数の処分方法を確保したい。</p>
16	周辺整備事業について	<p>資料を見ると多くの機能(ゾーン)が配置され、とても良い計画だと思うが、敷地面積が 3.6ha で十分なのか心配である。</p>	<p>敷地面積については、今のアクアプラザ上田と同等の面積であるので、十分だと考えている。</p> <p>公園は、長池公園を一回り大きくしたような規模感であり、十分な面積を確保できると考えている。</p>
17		<p>地域で農作業をしている方の困りごとを細やかに聞き取ってほしい。</p>	<p>沿線や地域の皆様の意見を聞く中で、対応していきたい。</p>
18		<p>資料の図面も、もう少しわかりやすく拡大して出してほしい。</p>	<p>今後、大きくわかりやすい図面も準備させていただく。</p>
19	搬出入道路について	<p>道路計画では、車道幅員を 5.5m とし、一部自転車歩行者道を設けない設計としているが、詳細をお聞きしたい。</p>	<p>整備区間の大半には自転車歩行者道の設置を計画しているが、<a href="#">資料 2</a>の 25 ページの C の交差点から上田大橋までの区間は自転車歩行者道が繋がらない。</p> <p>C の部分は千曲川河川事務所から許可を得て、霞堤防の河川内に道路新設を計画している。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
20	搬出入道路について	資料2の25ページのCの交差点から上田大橋までの区間も歩行者が多いため、歩道を設置してほしい。	<p>歩道設置を要望したが、河川管理上から許可されなかったため、路肩の幅を広くとる等に対応していきたい。</p> <p>現在、霞堤防上で車が交互通行している狭い道路は、国の管理する堤防として残るため、基本的には歩行者と自転車のみが通行できる河川管理用通路となる見込みである。</p>
21		今でも交通量の多い道路であるので、しっかり計画を作り、利用者に配慮したスケジュールを出してほしい。	<p>地域住民の皆様には迷惑がかからないような形で工事を区切りながら進めていきたい。</p> <p>交差点など通行止めが避けられない部分は、可能な限り通行止めの期間を短くできるよう、集中して工事を進める方策を考えていく。</p>
22	地域要望について	<p>資源循環型施設の問題については、諸先輩の時代から、ごみ問題は我々市民全体の問題であるという考えにたち、正面から真摯に受け止めて協議を行ってきた歴史がある。</p> <p>視察や資源循環型施設検討委員会などに際し、私達は自分事として捉え、事実に基づいて対応してきたことから、これからは堂々と地域要望を求めていくので、行政も真摯に受け止めてほしい。</p>	<p>去年11月に提出された対策連絡会の地域要望に対しては、12月に回答した。秋和自治会の個別要望についても協議していくが、しっかり文書等での確認もしながら確実に進めてまいりたい。</p> <p>皆様の想いをしっかりと受け止めてまいりたい。 (土屋広域連合長)</p>

No	項目	質問・意見等	回答
23	地域要望について	<p>周辺整備事業が実施されることにより耕作面積が減少し、米の販売収入や耕作機械の維持・更新など営農組合等の経営に影響がある。</p> <p>組合員の生活にも影響するので、十分実情を考慮したうえで、これからの話し合いをお願いしたい。</p>	<p>現在の清浄園における事例も踏まえ、農業団体、水利団体にも配慮して進めていく。</p> <p>自治会を窓口として、今後、協議をしていきたい。</p>
24	その他（事業全体について）	<p>資源循環型施設、周辺整備、最終処分場も含めて総事業費を算定し、どういう形で市民の負担になるのかを全体的に示していくことが行政の責務だと思う。</p>	<p>既存クリーンセンターの取壊しも含め、上田地域全体の今後数十年のごみ処理体制を構築していく段階と認識している。</p> <p>事業費の見込みを精査し、きちんと市民、住民の皆様説明できるように整理をしていく。</p>
25	その他（他自治会の動きについて）	<p>諏訪部や常磐城の自治会で、考える会を作って勉強していこうという動きがあるようだが、具体的にはどの自治会の方で、どの程度話が進んでいるのか。</p> <p>それによって本日示されたスケジュールに影響が出るのか。</p>	<p>西脇自治会長が会長、諏訪部自治会長が副会長として、「資源循環型施設を自分事として考える会」という会を作ったと聞いている。</p> <p>諏訪部自治会には、協議の参加、説明会の開催について、随時お願いをしてきているが、応じていただけないため、個別通知により、秋和と同様の説明会を積み重ねている。</p> <p>自治会としてではなく、個人としての活動とお聞きした。会からは西脇、生塚での説明の御要望があったため、個別に説明をしていく予定。</p> <p>これまで長年にわたり協議を積み重ねてきた秋和自治会等と異なり、協議対象とは捉えていないため、スケジュールには影響ないと考えている。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
26	その他（これまでの経過について）	<p>上田地域のためにという思いを持って、専門家も交えた施設検討委員会で科学的・技術的な部分について真剣な議論がされた。</p> <p>環境影響評価で細部に渡り安全について検討がされ、これ以上の結果は出ないと思っており、最終判断の参考としたい。</p> <p>地元と一緒にあって真剣に検討してもらった行政の皆様には心から感謝したい。</p>	

余白

## 資源循環型施設建設に関する説明会 概要

### 【圏域①】

#### 1 開催概要

開催日時	令和7年2月20日（木）19：00～20：30	
開催場所	ひとまちげんき健康プラザうえだ（多目的ホール）	
出席者	住 民	45名
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員13名
	報道関係	1社

#### 2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	資源循環型施設建設について	<p>公害となる排ガスを出し、周囲に大きな影響を与える施設が住居近くに建設されることは不合理だと感じる。</p> <p>有機物リサイクル施設の選定基準と違うのではないか。</p>	<p>焼却施設から住宅までの距離の規定はなく、候補地周辺の用途地域は「工業専用地域」であり、住宅が隣接するという状況にはない。</p> <p>また、今回実施した環境影響評価でも、「周囲の環境へ大きな影響はない」という評価結果となっている。</p>
2		<p>現計画では、長野県内で唯一、汚泥焼却を行う下水終末処理場とごみ焼却施設が隣接して稼働することになり、安全・安心につながるのか。</p> <p>建設には絶対反対である。</p>	<p>下水終末処理場が通常稼働している状況下において、環境影響評価の現地調査を実施し、資源循環型施設が稼働した場合の環境への影響を予測、評価しており、「環境に大きな影響がない」という結果である。</p> <p>今後も、住民理解をいただけるよう取り組んでいきたい。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
3	資源循環型施設建設について	<p>清浄園付近の主な風向きは西風であり、東側地域への影響が大きいということは環境影響評価準備書の資料を見ても分かる。</p> <p>西側の資源循環型施設建設対策連絡会の構成地域だけではなく、大気質の汚染度が高い清浄園の東側地域に対しても、「地元」として考えるべきではないか。</p>	<p>候補地周辺の自治会、農業、水利団体で構成される資源循環型施設建設対策連絡会を地元として、話し合うことがまずは大事ということで、これまで協議を進めてきた歴史がある。</p> <p>施設建設について広く周知するため、上田圏域全体を対象とした説明会の開催を重ねている。 (土屋 広域連合長)</p> <p>「汚染」との御指摘だが、県条例に基づく環境影響評価で排ガスのダイオキシン類等の濃度分布や最大濃度着地地点の予測を実施し、環境影響評価技術委員会での審議を経て、「環境に大きな影響がない」と評価している。</p> <p>この結果や10年以上に及ぶ対策連絡会との話し合いを踏まえ、地元協議の枠組みの変更は考えていない。</p>
4		<p>ダイオキシン類が一番発生するのは焼却炉で焼却を開始する立ち上げや、終了する立ち下げの時であり、様々な状況下できちんと検証する必要がある。</p>	<p>ダイオキシンの測定は国が定める公定法により実施する。</p> <p>焼却炉の立ち上げには、十分に炉の温度を上げてからごみを焼却すること、立ち下げの際には、ごみを焼却し切ってから焼却炉を停止するという手順は現在のクリーンセンターでも実施しており、遵守していく。</p> <p>施設や周辺環境のモニタリングについては、安全・安心のための公害防止協定を地元の皆様と締結し、公害防止、監視の枠組みを作り上げていきたい。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
5	資源循環型施設建設について	<p>千曲川の堤防について、完成堤防であるが、決壊しないことを保証するものではないという話を聞いている。</p> <p>1 mの嵩上げだけでは洪水に対する対策が不十分であり、施設建設には賛成できない。</p>	<p>ごみ収集運搬車の通行道路として千曲堤防道路の拡幅を予定しており、これにより堤防強化にも繋がると考えている。</p> <p>施設周辺が浸水想定区域であることから、施設の浸水対策の基本方針を定めている。</p> <p>0.5mから1 m程度の浸水に対しては、1 mの嵩上げ等により、「ごみ処理する機能を守る」としている。</p> <p>最大となる5 mから10 mの浸水想定では、完全な浸水防止は困難であり、主要設備を守り、ごみ等を流出させない対策をとり、「ごみ処理機能を速やかに回復する」としている。</p> <p>今後、詳細な対策を検討し公表していきたい。</p>
6		<p>施設を一か所に集中させるのではなく、危機管理の観点からも、小さい施設を二つ程度建設し、分散化していくのが、これからの国の方針になると思っている。</p>	<p>ダイオキシン類の有害物質の発生について、一般的には大規模な施設の方が安定燃焼しやすく、排出抑制が可能となる。</p> <p>現状の国の方針では、統合して大規模施設で処理を誘導している。計画では、危機管理の観点もふまえ、2炉方式としている。</p>
7		<p>景観の観点からも、煙突の高さを低くする、あるいは地中に入れる等の対応はできないのか。</p>	<p>有害物質の排出は可能な限り抑制するが、煙突をより高くして放出することにより大気中での拡散を目的としている。</p> <p>景観上は御指摘のとおりだが、安全のための機能であり、御理解をいただきたい。</p>
8	搬出入道路について	<p>パッカー車が通る場所はしっかり決められたルートを通るように収集業者には指導していただきたい。</p>	<p>資源循環型施設へのごみを運搬する際には、地元的生活道路を通行せず指定した幹線道路を通るよう指導していく。</p>

余白

## 資源循環型施設建設に関する説明会 概要

### 【圏域②】

#### 1 開催概要

開催日時	令和7年2月28日（金）19：00～20：31	
開催場所	上田文化会館（大ホール）	
出席者	住 民	38名
	行 政	土屋広域連合長、小相澤上田市副市長、他関係職員13名
	報道関係	3社

#### 2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	資源循環型施設建設について	<p>土壌汚染が判明して、今後県と協議をしながら調査及び対策を検討するとあるが、具体的にどのような対策を検討するのか。</p>	<p>土壌汚染が確認された地点で来年度、深度調査を実施し詳細に確認していく。</p> <p>調査結果を県に報告、指導を受け、適正な定められた方法で、可能な限り清浄園用地から汚染土壌の撤去をしていきたい。</p>
2		<p>砒素や鉛が出たのであれば清浄園跡地は建設地として不適切ではないか。</p> <p>周辺整備事業について、砒素や鉛が出た場所の近くで子どもを遊ばせたいとは思わない。</p>	<p>現在の清浄園の建設時にも、環境影響評価を実施しており、公表し、適切に処理している。</p> <p>そのため、今回、再度調査し、一部で土壌汚染が判明したので、こうした公表をしており、今後適切な処理をし、説明もしていく。</p>
3		<p>土壌汚染の詳細が判明したら住民には公表していくのか。</p>	<p>地元地域の皆様には説明していくほか、ホームページ等でも公表したい。</p> <p>これに限らず、資源循環型施設建設を市の出前講座のメニューに加え、御要望に応じて説明をしてみたい。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
4	資源循環型施設建設について	<p>土壌調査は、どのような区域、方法で実施したのか。</p> <p>調査は表層のみか、何mまで調査した結果、汚染した4か所が判明したのか。</p>	<p>清浄園用地を 30mメッシュに区切り、1つのメッシュから5点の試料を採取し測定している。</p> <p>今回は表層のみの調査であり、深さ方向の調査は、汚染が確認された4か所において来年度実施する。</p>
5		<p>土壌汚染をいつ公表したのか。</p>	<p>環境影響評価の手続きのなかで公表している。</p> <p>地元の皆様には調査結果を説明しており、広く圏域住民の皆様に対しては今回の説明会で報告をしている。</p>
6		<p>汚染の原因となった焼却灰はどこに何トン埋めたのか。</p> <p>また何の焼却灰なのか、なぜ埋めたのか。</p>	<p>昭和 33 年にし尿処理場を建設する際に、現在の清浄園の西側にあった排水路敷の埋め立てに廃棄物の焼却灰を埋めた記録があるが、量については不明である。</p>
7		<p>市行政であれば当時から廃棄物を扱う基準やその当時の記録が残っていると思うが、そういったものは公表されているのか。</p>	<p>土壌汚染対策法や埋め立てに関する規制は昭和 33 年当時にはなかった。</p> <p>当時の文書に焼却灰を埋めた記録が残っており、土壌汚染の原因であるとしている。</p>
8		<p>PFOA・PFOS、放射能汚染物質について、法律などで規制されていないければ対応しないのか。</p>	<p>PFOA・PFOS は、ごみを焼却する過程で発生はなく、廃棄物処理施設では対策や規制数値が示されていない。今後、施設建設までに検討していきたい。</p> <p>放射性物質も同様だが、バグフィルター設備で対応可能と考えている。</p> <p>現在の3クリーンセンターでは年2回の焼却灰の放射性物質の調査をしており、数値はほぼ下限が続いている状況だが、当面は継続したい。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
9	資源循環型施設建設について	<p>水害発生時、建物周りや焼却炉の周りは水で削られて機能復旧まで何か月もかかる状況になるはず。</p> <p>また、周辺道路も相当な被害を受け、施設にたどり着けないことも想定される。</p> <p>本来あの場所に造るべき施設ではないので、建設には絶対反対する。</p>	<p>資源循環型施設は1 m程度の水害までは「ごみを処理する機能を守る」、5 mから10mには「主要設備を守り、ごみを処理する機能を速やかに回復する」との基本方針としている。</p> <p>災害発生時の搬入経路等は、施設の事業継続計画として検討してまいりたい。</p>
10		<p>清浄園の地盤から堤防の高さが、資料1の10ページの図では2 mしかないが、3 m程度はあると思う。</p>	<p>実際の測量結果により、提示している。</p>
11		<p>資料1の9ページのダイオキシン類の単位は、ng-TEQ/N m<sup>3</sup>ではなく、pg-TEQ/N m<sup>3</sup>の単位で表示するべきではないか。</p>	<p>自主基準値については記載のとおり、ng-TEQ/N m<sup>3</sup>が正しい単位となる。</p>
12		<p>県条例で指定されている公害管理項目はこれだけではないはず。</p> <p>微小粒子状物質(PM2.5)が管理項目になっていない。</p> <p>PM2.5はアレルギーを誘発する物質。管理項目とすべきであり、低減させるためにどのような対応をしているのか。</p> <p>また、微小粒子状物質の環境基準は、1年平均値15 μg/m<sup>3</sup>となっているが、測定結果をみると夏場でこの数値を超えている時がある。</p>	<p>微小粒子状物質(PM2.5)の環境基準はあるが、施設からの排出基準は規定されていない。</p> <p>PM2.5については様々な要因で発生するので、環境影響評価の中では、現地調査は実施しているが、予測はしていない。</p> <p>ただしPM2.5については、環境や人体に影響を及ぼすものであり、「ばいじん」などの自主基準値を含めてしっかり対応していきたい。</p> <p>長期的に環境基準が守られているかを判断する一般的な手法(2%除外値)がある。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
13	周辺整備事業について	<p>周辺整備事業や自治会の公民館の建て替え等を実施すると言っているが、トータルでの事業費や市民負担が明らかになっていない。</p> <p>事業費・市民負担の説明をいつまでにやる予定なのか。</p>	<p>現在、基本計画で施設の概要を検討しており、本日の説明はアウトラインである。</p> <p>今後、住民の皆様様の御意見や民間の参入の状況により、詳細な施設内容を令和7年度に決めていく予定であり、現段階で事業費は明示できない。</p> <p>公民館や自治会要望については、一定の目安を持って対応したい。</p>
14		<p>一番の地元である諏訪部地域の皆様様の気持ちをないがしろにして、土壌汚染の話もある中、周辺整備を進めていくのは邪道だと思う。</p>	<p>2月14日に諏訪部地域の住民を対象に説明会を開催し、参加者と熱心な意見交換を行った。</p> <p>併せて、自治会としての協議参加への御助力をお願いしており、事業を進めてまいりたい。</p> <p>(土屋広域連合長)</p>
15	その他(事業の進め方について)	<p>諏訪部自治会は真っ向から反対しており、合意を得られるかは非常に疑問に思う。</p> <p>行政として、公害の影響を大きく受ける西部地域や南部地域の各自治会からも賛同を得る努力をすべきではないか。</p>	<p>準備書で示したダイオキシン類等の濃度分布、最大濃度着地点等を参照しての御意見と思うが、詳細な予測を行った結果、「全ての地点で環境に大きな影響がない」と評価している。</p> <p>施設立地に関しては、2012年からの協議の積み重ねを大切にしていきたいと思います。</p>

No	項目	質問・意見等	回答
16	その他（可燃ごみ減量について）	<p>現在の3クリーンセンターの合計処理能力 270 t/日から、新施設は 144 t/日とコンパクトになり、地球環境を考えると非常に良いことだと思う。</p> <p>現在の焼却量は、144t/日まで減量できていないと思うが、生ごみの堆肥化等、住民を巻き込むことで、焼却量を減らす努力をしてほしい。</p> <p>また、堆肥化施設の今後の見通しについて聞きたい。</p>	<p>家庭系の可燃ごみについては市民の皆様の御協力もあり、年々減っている状況であるが、事業系の可燃ごみはあまり減っていない。さらに可燃ごみを減量するために丸子の陣場地区に生ごみ堆肥化施設を計画しているところである。</p> <p>可燃ごみが減っていることに見合った施設規模を再精査している。</p>